



孤狼の血

オール広島ロケの【警察小説×「仁義なき戦い」】ついに公開!

広島市の架空都市・呉原を舞台に、暴対法成立直前の男達の戦いを描いた物語。原作は第69回日本推理作家協会賞を受賞。「警察小説×『仁義なき戦い』」とも評される。ダークな刑事を役所広司、若手刑事を松坂桃李が演じる。対する暴力団には、江口洋介、竹野内豊ほか豪華俳優陣。公開を記念し、八丁座では5月5日から1週間「仁義なき戦い」シリーズの特別上映も。

時 / 5月12日(土)公開
 会 / 八丁座ほか(→詳細P8)
 料 / 一般1,800円
 (仁義なき戦いは1,000円均一)
 問 / 八丁座
 TEL.082-546-1158
 (WEB有)



©2018「孤狼の血」製作委員会

読者プレゼント(P.15に詳細)



広島映画サークル第406回例会 娘よ

壮大な自然美と悲しい因習。



©2014-2016 Dukhtar Productions, LLC

広島の映画愛好家サークルによる自主上映会。今回はパキスタンの女性監督が、自国の因習を描いたドラマを紹介する。主人公はカラコルム山脈麓の村に暮らす一組の母娘。ある日、部族間抗争が勃発し、娘が政略結婚の質に選ばれた。母は娘を連れ出し逃走を図るが、2つの部族から追われることになり…。実話をもとにした物語。世界各国の映画祭で数々の賞を受賞した。

時 / 5月20日(日)
 13:00 ~、15:30 ~
 会 / 広島県立美術館 地下1F講堂
 料 / 一般1,400円
 シニア・大学生1,200円
 中・高校生1,000円
 問 / 広島映画サークル協議会
 TEL.090-6846-5051 (WEB有)

読者プレゼント(P.15に詳細)



ねこがいっぱいねこアート展 エジプトのねこから浮世絵、フジタのねこまで

全国の収蔵品、前後期で約150点も!!

古今東西のアートに見られる猫にスポットを当てた、ユニークな企画展。猫は、古代エジプトでは崇められ、ヨーロッパでは悪魔と迫害されていた?! また人々の暮らしに寄り添う猫を描いた絵画、化け猫画、擬人化した猫なども。浮世絵、西洋画、彫塑ほか、全国の美術館から約150点もの作品が大集合する。関連イベントも猫にちなんだ楽しい内容。カフェには猫スイーツも登場!

時 / 前期4月21日(土)~5月23日(水)
 後期5月24日(木)~6月24日(日)
 9:00 ~ 17:00
 ※金曜は19:00まで、初日は10:00 ~
 会 / ひろしま美術館
 料 / 一般1,300円、高・大学生1,000円
 小・中学生600円
 問 / ひろしま美術館 TEL.082-223-2530 (WEB有)



長谷川瀧二郎「猫」1966年 宮城県美術館

読者プレゼント(P.15に詳細)



自画像 「ツルギタチ サヤケクオビテ」



「西からの光」佃 静間展

西方浄土を胸に歩んだ画業を一望。

1940年、広島生まれの画家・佃静間さん。45歳で美術展に初入賞。その後数々の受賞や個展開催を経て、2014年には第62回光陽展・文部科学大臣賞に輝いた。今回は、佃さんの作品テーマを冠した展覧会。仏教の西方浄土思想に由来し、先の受賞作にもこのタイトルを付けた。佃さんが画家人生を通じて描いた「西からの光」を、新・旧作品織り交ぜて紹介する。

時 / 5月1日(火)~6日(日)9:00 ~ 17:00
 会 / 広島県立美術館 県民ギャラリー
 料 / 入場無料
 問 / 佃 TEL.080-6334-1940



けんみん文化祭ひろしま 第5回 広島市の祭典

多彩な市民団体が一堂に!

文化・芸術活動に励む県民の祭典「けんみん文化祭ひろしま」。その広島市内で活動している文化芸術団体が集う「第5回広島市の祭典」。今年は50団体がエントリーした。常連組に女子高校生の和太鼓団体「葵」、平均年齢80歳を誇る「あんしん鼓笛隊」など。また「一輪車クラブ」や「創作エイサー 守破離」などの新顔も登場する。ゲストにクラシックバレエ「ル・メイダンスカンパニー」。

時 / 5月13日(日)10:00 ~
 会 / JMSアステールプラザ 大ホール
 料 / 入場無料
 問 / けんみん文化祭ひろしま・
 広島市の祭典実行委員会
 事務局 TEL.082-238-3450(池澤)



文教太鼓「葵」